

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	福祉ボランティア育成・活動支援					所管	福祉部	
							福祉課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	170	計画事業名	福祉ボランティア育成・活動支援			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[事業開始]	平成20年度
		[施策] ②介護予防・生活支援サービスの充実					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例・同施行規則				
	事業対象	社会福祉協議会						
	事業目的	社会福祉協議会の健全な発展と区内社会福祉事業の育成強化を図る。						
	事業内容	社会福祉協議会が実施する以下の福祉ボランティアの育成や活動支援等に係る事業費の一部を助成する。 ・在宅福祉サービス事業 ・ボランティア活動推進事業 ・権利擁護センター事業						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	助成事業数	事業	3	3	3	3	
		成果指標	はつらつサービス協力会員数	人	270	250	256	259
	決算額 (単位：千円)				41,623	39,812	38,202	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			(1,275)	1,203	2,229	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			(0)	0	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			(1,905)	39,813	38,202	
		総経費			(3,180)	41,016	40,431	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			(0)	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			(0)	16,329	15,496	
一般財源 (区負担額)			(3,180)	24,687	24,935			
前回評価から改善した事項	情報コーナーや講座を充実するなど、ボランティア活動者数の増加に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、地域住民が主体的に参加する福祉活動を推進する必要性は高い。					
	効率性	3	各種事業は充実した内容で実施されており、効率性に特段の変化はない。					
	手段の適切性	3	ボランティアに関する情報提供やネットワークの構築、啓発の機会創出、活動のサポートに努め、必要な支援を行っている。					
	目的達成度	3	各種事業の継続的な実施や広報活動により、ボランティアの育成、確保を促進し、各事業は概ね順調に行われた。また、ボランティア参加者を増やす一環として、ボランティアポイント制度の導入を検討した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持	
災害時の対応や、その他の社会的要請が高い状況を踏まえると、ボランティア活動についての普及啓発や定着支援の取り組みは欠くことができない。そこで、ボランティアへの関心や意欲を高め、活動促進を図るためのボランティアポイント制度について、29年度よりモデル実施する。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		